

【OIE 情報】中国における高病原性鳥インフルエンザ（H5N2）の発生について

中国山東省青島市における高病原性鳥インフルエンザ（H5N2）の発生について、2014年1月20日付けでOIEへ報告がありましたのでお知らせいたします。本報告は、2013年12月21日付けの河北省における発生報告の続報（続報1）です。

出典：OIEウェブサイト（2014年1月20日付け）

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=14672

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

【概要】

- ・発生数：1件（続報1）
- ・発生日：2014年1月16日
- ・OIEへの報告日：2014年1月21日
- ・血清型：H5N2（高病原性）

【発生状況】

- ・発生場所：山東省 青島（チンタオ）市 紅島経済区

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
家きん	18,857	5	0	18,857	0

【疫学情報】

- ・感染源：不明または調査中
- ・国家サーベイランス計画によると、1戸の繁殖農家由来の5検体がH5N2検査陽性となった。
- ・死亡鳥は確認されていない。

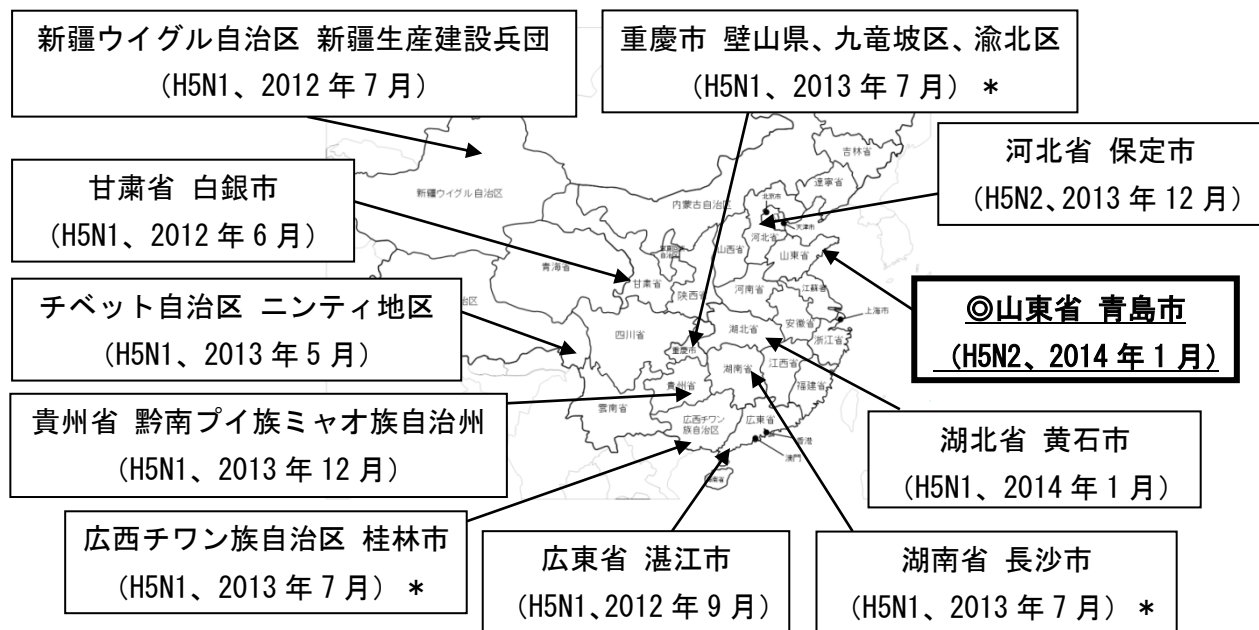
【対応】

- ・淘汰
- ・隔離
- ・国内における移動制限
- ・スクリーニング
- ・ゾーニング
- ・施設等の消毒実施
- ・発生に対応したワクチン接種は実施していない
- ・患畜を治療対象としない

【診断】

- ・診断施設：Harbin Veterinary Research Institute, Chinese Academy of Agricultural Sciences
（OIEリファレンスラボラトリー）
- ・診断法：赤血球凝集抑制（HI）試験、RT-PCR、ウイルス分離（いずれも陽性、2014年1月20日）

【参考情報：中国における高病原性鳥インフルエンザ発生地図(2012年6月以降)】



*) 中国当局公表資料：生鳥市場で確認 (OIE 未報告)